

皆の者よく聞きなさい。これが最後の言葉である。亡き頼朝公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてから、官位や土地など、その御恩は山よりも高く海よりも深い。この御恩に報いる心が浅くてよいはずがない。…名誉を失いたくない者は、敵を討ち、幕府を守りなさい。

一、頼朝公の時代に定められた、諸国の守護の職務は、国内の御家人を京都の警備にあたらせること、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まることである。
一、女性が養子を迎えることは、律令では許されないが、頼朝公の時代から今日まで、子のいない女性が土地を養子に譲ることは、武家社会のしきたりとして数え切れないほどある。
(一部要約・抜粋)

▲A鎌倉幕府のしくみ ▲B承久の乱時の北条政子の言葉 ▲C御成敗式目(貞永式目)

1 各地で生まれる武士団 (図表のワーク①～⑧) 教科書 P.66・67

- 荘園領主…荘園の持ち主は、貴族や大寺社に荘園領主となってもらい、税を免除される特権を得た。
- 武士の役割…9～10世紀、土地(領地)をめぐる争いなどが起こるなか、戦いを職業とする武士が育った。武士は武士団というまとまりを形成。武士団の中では源氏と平氏をつけ、武士の統率者(棟梁)となった。大寺院は僧兵を持った
- 地方の武士の自立の動き…10世紀半ば、平将門が関東地方で、藤原純友が瀬戸内地方で乱を起こした。東北地方では、11世紀半ばに豪族が勢力争い→源義家らが平定→源氏が東国(関東地方)で力を持った。また、東北地方は奥州藤原氏が統一し、平泉を中心に三代にわたって栄え、中尊寺金色堂などをつくった。源義経をかくまったことで源頼朝に滅ぼされた奥州藤原氏三代の遺体が安置されている

2 朝廷と結びつく武士 (図表のワーク⑨～⑮) 教科書 P.68・69

- 院政と武士…11世紀後半、摂関政治が終わる→白河上皇が院政を開始→12世紀半ば、院政の実権をめぐる争い→後白河天皇が源義朝や平清盛らの協力を得て勝利(保元の乱)→後白河上皇の政権内で勢力争いが起こる→平清盛が源義朝を破り、義朝の子の源頼朝が伊豆に流される(平治の乱)。
- 平氏の政治と日宋貿易…平清盛が権力を強め、武士として初めて太政大臣となった。11世紀ごろから行われていた日宋貿易に力を入れ、大輪田泊を修築。娘を天皇にとつがせ、その子を天皇にして朝廷との関係を深めた
- 平氏の滅亡…政治や富を独占する平氏に対して、貴族や大寺社、武士が反発→源氏を中心に平氏打倒の挙兵→源頼朝が東国の武士の支持を集め、弟の義経の軍勢を派遣→1185年、壇ノ浦で平氏が滅亡。

3 鎌倉を中心とした武家政権 (図表のワーク⑯～⑳) 教科書 P.70・71

- 源頼朝が開いた鎌倉幕府…源頼朝は国に守護を、荘園や公領に地頭を設置し、征夷大將軍に任じられた。
- 将軍と御家人…将軍は御家人に役職や領地を与え(御恩)、御家人は戦や警備など(奉公)を行った。
- 地頭の支配…地頭は荘園や公領の農民を支配し、荘園領主に納める年貢の取り立てを行った。
- 執権政治…頼朝の死後、実権は執権の北条氏が握った→1221年、後鳥羽上皇が幕府を倒すために挙兵したが敗北(承久の乱)→幕府は京都に六波羅探題を置き、朝廷を監視し、西国の武士を統制した。
- 御成敗式目…1232年、北条泰時が裁判の基準などをまとめた。貞永式目ともいう。御家人の権利や義務などをまとめ、その後の武家政治の基準となった。

4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 (図表のワーク㉑～㉓) 教科書 P.72～75

- 鎌倉文化…武士の気風に合った、力強くわかりやすい文化。
 - 彫刻…運慶、快慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作。
 - 文芸…軍記物の『平家物語』、『新古今和歌集』、鴨長明の『方丈記』や兼好法師の『徒然草』などの随筆。
 - 鎌倉仏教…わかりやすく信仰しやすい教え。

宗派	開祖	特色
浄土宗	法然	念仏によって極楽へ
浄土真宗(一向宗)	親鸞	阿弥陀仏を信じる
時宗	一遍	踊り念仏
日蓮宗	日蓮	題目を唱える
禅宗	栄西・道元 臨濟宗 曹洞宗	座禅で悟りを得る

▲D鎌倉仏教 禅宗は幕府に保護された。

☑ 図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

世紀	武士の登場
10	<ul style="list-style-type: none"> 有力な武士が従者を組織して①を形成→特に②氏と③氏が有力に 10世紀半ば、関東地方で④が、瀬戸内地方で⑤が反乱
11	<ul style="list-style-type: none"> 前九年合戦・⑥合戦→源義家らが平定→⑦氏が東北地方を統一 世界遺産の⑧が残る平泉を中心に栄える 11世紀後半、藤原氏と血縁のうすい後三条天皇が即位→摂関政治が終わる →白河上皇が⑨を始める
12	<ul style="list-style-type: none"> 12世紀半ば、朝廷内の勢力争い(⑩の乱)→後白河天皇が勝利→後白河上皇の政権内で勢力争い(⑪の乱)→⑫と源義朝が対立→⑫が勝利し、実権を握る <p>平氏の政治と源平の争乱</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑫は武士として初めて太政大臣となる→⑬貿易に力を入れ、大輪田泊を修築 政治や富を独占する平氏への不満が高まる→⑭が挙兵して東国の武士の支持を集める →1185年、弟の⑮が壇ノ浦で平氏を滅ぼす 1185年、⑭が、国ごとに⑯を、荘園や公領ごとに⑰を置く
	<p>鎌倉幕府の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭が1192年、征夷大將軍となる →將軍と御家人は、御恩(役職や領地を与える)と⑱(合戦や警備など)の主従関係
13	<ul style="list-style-type: none"> ⑭の死後、実権は⑲の役職(初代は⑳)に就いていた北条氏へ →院政を行っていた後鳥羽上皇が倒幕をねらって1221年に挙兵(㉑の乱)→幕府の勝利 →朝廷を監視するため、京都に㉒を設置 <p>執権政治の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 1232年、北条泰時は裁判の基準などを示した㉓を制定

▼鎌倉時代の文化

特色	貴族中心の伝統文化を基礎にした、武士の気風に合った力強くわかりやすい文化
文学	『㉔』…軍記物。琵琶法師が語り伝える
	『㉕』…藤原定家が編集
	鴨長明の『㉖』や兼好法師の『㉗』…随筆
彫刻	東大寺南大門の㉘…運慶、快慶ら
絵画	絵巻物…「一遍上人絵伝」など

▼鎌倉仏教

宗派	開祖
浄土宗	㉙
㉚	親鸞
㉛	一遍
日蓮宗	日蓮
㉜	栄西・道元

確認問題

→類題演習 P.91

1 各地で生まれる武士団 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 10世紀半ば、□□が関東地方で、藤原純友が瀬戸内地方で反乱を起こした。 ()
- (2) 東北地方を統一した□□氏は、三代にわたって平泉(岩手県)を中心に勢力をふるった。 ()
- (3) (2)氏の清衡は極楽浄土を表現しようとして、平泉に□□堂を建てた。 ()

2 朝廷と結びつく武士 次の問いに答えなさい。

- (1) 平安時代の後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、政治の実権を握った。このような政治を何というか。 ()
- (2) 12世紀半ば、平治の乱で源氏を破った平氏の人物はだれか。 ()
- (3) (2)の人物は、武士で初めてある役職に任じられた。その役職は何か。 ()
- (4) (2)の人物は、ある国との貿易に力を入れ、大輪田泊(兵庫県神戸市)を修築した。ある国とはどこか。 ()
- (5) 1185年、壇ノ浦(山口県)で平氏を滅ぼした、源頼朝の弟はだれか。 ()

3 鎌倉を中心とした武家政権 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

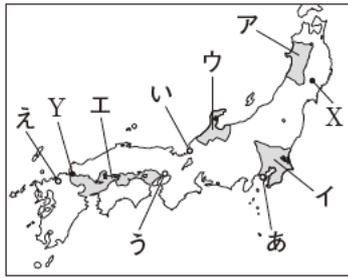
- (1) 1192年、□□は征夷大將軍に任じられた。 ()
- (2) (1)は、国ごとに□□という役職を置き、国の軍事・警察を任せた。 ()
- (3) (1)が荘園や公領ごとに置いた□□は、年貢の取り立てを請け負った。 ()
- (4) 將軍は御家人に領地や役職を与えた。このことを□□という。 ()
- (5) 御家人は、(4)を受ける代わりに、合戦への参加や京都や鎌倉の警備などの義務を負った。このことを□□という。 ()
- (6) (1)の死後、將軍の補佐役である□□に就いた北条氏が幕府の実権を握った。 ()
- (7) 1221年、後鳥羽上皇が挙兵したが、幕府軍に敗れた。このできごとを□□という。 ()
- (8) (7)の後、朝廷を監視するため、幕府が京都に設置した役所を□□という。 ()
- (9) 1232年、北条泰時は、□□を定めて、裁判の基準などを御家人に示した。 ()

4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 後鳥羽上皇が藤原定家に編集させた和歌集を何というか。 ()
- (2) 東大寺南大門に納められている金剛力士像を制作した中心人物は、快慶とだれか。 ()
- (3) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物を何というか。 ()
- (4) 兼好法師が書いた随筆を何というか。 ()
- (5) 浄土宗を開き、念仏(南無阿弥陀仏)を唱えることを説いたのはだれか。 ()
- (6) 阿弥陀仏を信じるのが重要だと説き、浄土真宗(一向宗)を開いたのはだれか。 ()
- (7) 栄西や道元によって、座禅により悟りを得ようとする仏教の宗派が伝えられた。座禅で心を落ち着かせることが、合戦で戦う武士に受け入れられたため、幕府に保護されたこの宗派は何か。 ()
- (8) 「南無阿弥陀仏」と唱えながら踊ることによって念仏信仰を広めたのはだれか。 ()
- (9) 題目(南無妙法蓮華經)を唱えれば国も人々も救われると説いた人物はだれか。 ()

練習問題

1 次の地図と年表を見て、あとの問いに答えなさい。

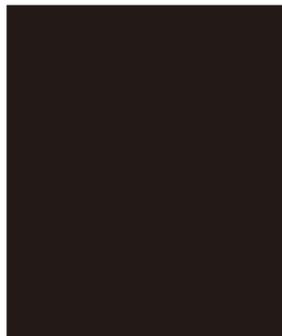


年代	できごと
935	平将門が反乱を起こした…………… A
1086	白河上皇の院政が始まった…………… B
1156	保元の乱が起こった…………… C
1167	平清盛が①になった…………… D
1185	平氏が滅びた…………… E
1192	源頼朝が②になった
1203	北条時政が初代③となった
1221	承久の乱が起こった…………… F
1232	御成敗式目が制定された…………… G

- (1) ①～③にあてはまる役職名をそれぞれ答えなさい。
- (2) Aの反乱が起こった地域を、地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。
- (3) Bのころから、地図中のXを拠点とし、砂金や馬などの交易で栄えた豪族は何氏か。
- (4) Cの後に起こった、後白河上皇の政権内での勢力争いで、平清盛が源義朝を破った戦いを何というか。
- (5) Dについて、平清盛が宋との貿易のために整備した港の位置を、地図中のあ～えから選び、記号で答えなさい。
- (6) Eについて、地図中のYでの戦いで平氏は滅んだ。Yの地名を答えなさい。
- (7) Eと同じ年に、源頼朝が国ごとに設置した役職を何というか。
- (8) Fのとき、幕府を倒すために挙兵した人物を次から選び、記号で答えなさい。
ア 天武天皇 イ 後鳥羽上皇 ウ 桓武天皇 エ 天智天皇
- (9) Fの後、幕府が朝廷の監視や西国の武士の監視のために置いた役所を何というか。
- (10) Gについて、御成敗式目(貞永式目)を制定した人物はだれか。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 鎌倉時代の新しい仏教のうち、次のA～Cの文にあてはまる宗派を答えなさい。また、その開祖をあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。
A 南無妙法蓮華経という題目を唱える。
B 一心に南無阿弥陀仏と唱える。
C 念仏を唱えながら踊る、踊り念仏を行う。
ア 日蓮 イ 一遍 ウ 道元 エ 法然
- (2) 運慶・快慶らによってつくられた、右の写真の彫像を何というか。また、この彫像が置かれた建築物の名前を答えなさい。
- (3) 鴨長明が書いた随筆を次から選び、記号で答えなさい。
ア 平家物語 イ 方丈記 ウ 徒然草 エ 枕草子



1 ①～③

- (1) ① -----
- ② -----
- ③ -----
- (2) -----
- (3) -----
- (4) -----
- (5) -----
- (6) -----
- (7) -----
- (8) -----
- (9) -----
- (10) -----

2 ④

- (1) A宗派 -----
開祖 -----
B宗派 -----
開祖 -----
C宗派 -----
開祖 -----
- (2) 彫像 -----
建築物 -----
- (3) -----

▶ Key プラス

1 次の年表と史料を見て、あとの問いに答えなさい。

年代	できごと
935	平将門が反乱を起こす……………A (ア)
1156	保元の乱が起こる……………B
1159	平治の乱が起こる……………C (イ)
1192	源頼朝が征夷大將軍になる (ウ)
1221	承久の乱が起こる……………D (エ)

一、頼朝公の時代に定められた、諸国の守護の職務は、国内の御家人を京都の警備にあたらせること、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まることである。

一、女性が養子を迎えることは、律令では許されないが、頼朝公の時代から今日まで、子のいない女性が土地を養子に譲ることは、武家社会のしきたりとして数え切れないほどある。

(一部要約・抜粋)

- (1) 次の①～③のできごとは、年表中のア～エのどの時期に起こったか、それぞれ記号で答えなさい。
- ① 六波羅探題が設置された。 ② 前九年合戦・後三年合戦が起こった。
- ③ 国ごとに守護が、荘園や公領ごとに地頭が置かれた。
- (2) 年表中のA～Dにあてはまるものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
- ア 後白河天皇が、平清盛や源義朝らの協力を得て兄の上皇を破った。
- イ 後鳥羽上皇が挙兵したが敗れ、隱岐国(鳥根県)へ流された。
- ウ 平清盛が、源義朝を破り、その子の頼朝を伊豆に流した。
- エ 「新皇」と名乗った武士が、関東地方の武士団を集めて反乱を起こした。
- (3) 史料は御成敗式目(貞永式目)である。この法令を定めた人物はだれか。また、この法令で定められた目的の1つを、「基準」の語句を使って簡単に書きなさい。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代になると、それまでの貴族を中心とした伝統文化を基礎に、武士の気風に合った、わかりやすく力強い文化が育ち、①武士の活躍を描いた軍記物、②後鳥羽上皇の命令で編集された和歌集などが生まれた。また、鎌倉時代には③新しい仏教の教えが生まれた。

- (1) 下線部①について、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物は何か。
- (2) 下線部②の和歌集を何というか。
- (3) 下線部③について、次の問いに答えなさい。
- ① 下線部③にあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 浄土宗 イ 時宗 ウ 日蓮宗 エ 真言宗
- ② 栄西や道元が説いた教えの特色として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 題目を唱えれば救われる。 イ 念仏を唱えれば極楽浄土へ行ける。
- ウ 座禅によって悟りを得る。 エ 山奥での修行・学問を重んじる。

1の答え

- (1)① _____
- ② _____
- ③ _____
- (2)A _____
- B _____
- C _____
- D _____

(3)人物 _____

目的 _____

2の答え

- (1) _____
- (2) _____
- (3)① _____
- ② _____

ここで得点アップ!

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

9～10世紀、領地^{りやうち}をめぐる争いで各地が混乱するなか、^a武士が育っていった。武士は一族の長である惣領^{そうりやう}を中心に□①というまとまりをつくった。彼らのなかには、天皇家や貴族に仕えて都の警備にあたる者や、地方で国の役人となり実力を蓄^{たくわ}える者などがいた。なかでも^b源氏と平氏は有力な存在となり、武士の棟梁^{とうりやう}となった。10世紀半ばになると、中央政府に公然と抵抗する者も現れ、関東地方では□②が、瀬戸内地方では□③が反乱を起こした。また、東北地方は、^c前九年合戦・後三年合戦の後、^d奥州藤原^{おうしゅうふじ}氏が統一した。

12世紀半ばになると、院政の実権をめぐる争いに武士が動員されるなか、^e平清盛が勢力を広げ、平氏一族は朝廷との関係を強めて政治の実権を握るようになった。

- (1) □①～□③にあてはまる語句や人物を書きなさい。 □①()
 □②() □③()
- (2) 戦いを職としていた下線部^aは、日ごろからどのような生活をしていたか。武士の生活が描かれている左の写真を参考にして書きなさい。
 □()
- (3) 下線部^bのうち、下線部^cの争乱を平定し、東国で勢力を伸ばしたのは何氏か。 □()
- (4) 下線部^dの拠点となった、中尊寺金色堂^{ちゆうそんじこんじきどう}などがのこる岩手県の町を答えなさい。 □()
- (5) 下線部^eについて、平清盛は、平安時代に摂関政治の全盛期を築いた藤原氏と同じような方法で朝廷との関係を強めていった。この方法を、「娘」の語句を使って簡単に説明しなさい。
 □()

2 次の史料を読んで、あとの問いに答えなさい。

皆の者よく聞きなさい。これが最後の言葉である。亡き□公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてから、官位や土地など、その^a御恩^{ごおん}は山よりも高く海よりも深い。この御恩に報^{むく}いる心が浅くてよいはずがない。…名誉を失いたくない者は、敵を討ち、幕府を守りなさい。
(「吾妻鏡」一部要約・抜粋)

- (1) 史料は、ある戦乱の際に、ある人物が行った演説の内容を示している。「ある戦乱」と「ある人物」の名前をそれぞれ答えなさい。 □戦乱() □人物()
- (2) (1)の戦乱の後、京都に六波羅探題が置かれた。六波羅探題が置かれた目的の1つを、「監視」の語句を使って書きなさい。
 □()
- (3) 史料の□にあてはまる人物名を答えなさい。 □()
- (4) 下線部^aについて、鎌倉時代の将軍と御家人は、御恩と奉公^{ほうこう}の関係で結ばれていた。御恩と奉公とはそれぞれどのようなことか。次の□の4つの語句のうち、それぞれ2つずつ用いて、解答欄に合うように答えなさい。
 □領地 □合戦 □役職 □警備
- 御恩(将軍が)
 □奉公(御家人が)